

統合データベースプロジェクト終了後の体制等について

ー議論のための素材メモー

・ どのような機能を担うべきか？

アーカイブ機能重視か統合化重視か？

医療、医薬品関係はどの程度までカバーするべきか？

脳研究のデータや環境（生態）データも扱うべきか？

想定ユーザは研究者、技術者中心でいいか？

もっと一般向けサービスを提供すべきか？

文献データの収集などどこまで主体的・本格的に行うべきか？

個々のデータベース構築の支援まで行うべきか？

プライマリなデータベースの構築そのものにも積極的に関わるべきか？

（例：データ産出プロジェクトのデータベース構築に最初からかかわる）

バイオリソースプロジェクトとの連携はいかにあるべきか？

欧米のセンターとの連携のあり方は？

新型シーケンサーへの対応はどうすべきか？

データベース構築のファンディング機能も担うべきか？

・ どのような体制が望ましいか？

集約型／分散型／併用型

既存の組織との関係（再編合体、連合体形成など）はどうあるべきか？

永続的な体制はどのようにすれば構築できるか？

ライフサイエンス関連4省のデータを全部統合するには？

統合センターにデータが集まるようにするには？

必要な法整備は？

どの程度の規模（人員、設備、予算）が必要か？

安定的な予算はどのようにして確保すればよいか？

データ産出プロジェクトからの消費税方式はどうか？

ライフサイエンス以外の分野との連携はどうあるべきか？

今後どこにどう働きかけするのがよいか？

どこかに委員会を設けてもらう必要があるか？